

1月**28**日(土)14:00~15:45 **第49回言語文化教育研究学会月例会**

言語文化教育研究学会第三回年次大会では、言語文化教育の「ポリティクス」を「言語文化教育・学習者、教室・機関等を取り巻く、あるいはその中にある大小の力関係」と定義し、この権力構造を把握した上で、「ポリティクスの網の目を解きほぐし言語文化教育の可能性を広げる」ことをめざしています。

こうした言語文化教育を取り囲む、あるいは内包する「大小の力関係」は多岐にわたり、その要因、構造も様々だと思われます。不安定な雇用形態や雇用者からの要望、同僚の教育観、学生の学習観、あるいは業界外の人からの一言、言語教育を取り巻く環境や政策の変化など、わたしたちが出会う「大小の力関係」は実に様々です。また、一つの事例にさまざまな要因や構造が複雑に絡み合っている場合もあります。

第49回月例会では、年次大会に先立ち、わたしたちが日々出会っている「大小の力関係」を持ち寄り、「何を相手に」「なぜ」を問いながら、皆さんでその構造のいくつかを紐解く場を開いてみようと思います。

この場で考えてみたい「ポリティクス」に関する事例をお持ち寄りください。

言語文化教育研究学会月例会委員

言語文化教育研究学会第三回年次大会 「言語文化教育のポリティクス」プレ企画

わたしたちは何と闘っているの

会場:早稲田大学早稲田キャンパス 22号館 **615** 教室

参加費:無料

予約:不要(会場に直接お越しください)

お問い合わせ:monthly@alce.jp(月例会委員会事務局)